

# くらしの目線で市政を変える

こんにちは  
日本共産党

市会議員  
**西野さち子**です



## 「原発ゼロ」の大きな流れへ力をあわせましょう!!



「原発をゼロにして安心安全な日本と京都を」と署名への協力を訴える西野さち子市議

西野さち子市議と小栗栖地域の後援会の皆さんが、横断幕、脱原発ふうせんなどのグッズをそろえて、小栗栖のカスターナ前で訴えました。子ども連れの若いお母さんが特に関心を示されて、署名をしていただきました。

京都市の防災対策総点検委員会の間報告書には「琵琶湖に放射性物質が飛散しても水が多いから希釈される」「水道水になる前にろ過するから大丈夫」など見識を疑うような話しが続々。それもそのはず。関電の100%出資会社からの委員が入って安全神話を振りまいているのですから。そんな人物を任命する市長の責任は大きいのではないのでしょうか。市長をかえて、安心安全な京都市をつくっていきましょう

「原発からの撤退を求める」請願署名を広げよう!  
西野さち子市議と共産党後援会が宣伝行動



### 「原発マネー」のばらまきにあ然 敦賀原発見学ツアー

日本共産党伏見後援会と伏見女性ネットの取り組みで、敦賀原発の見学と学習が取り組みました。満員で出発した原発見学ツアーに、途中から原発問題住民運動全国連絡センター代表委員の山本雅彦さんが道案内と説明に搭乘され、お話をお聞きました。

「敦賀湾の海底には放射性物質が積もっていて、今でも高濃度の放射能が検出される。敦賀3・4号機の建設地では、科学的な根拠もなしに地震は起こらないと断定している」

「敦賀原発は防波堤がない。津波が来ても建物の中に入らないように密閉するというが、地震で建物が壊れることなど想定すらしていない」「敦賀原発の計画が出たのが1950年代。当時1世帯に3千万円が配られた」等、元原発労働者でもある山本さんの生々しい話にショックを受けると同時に、庶民の常識では考えられない原発マネーのばらまきにあぜんとしてしまいました。

福井の原発群から60kmに京都市役所があります。原発から一番近い政令市が京都市。京都から脱原発のメッセージを発信しましょう!



マイカー署名  
ただちに中止を!

京都市が来年3月に計画している京都マラソンの実施にむけ、町内会などに対して、車の利用自粛の賛同署名を集めるよう求めている問題について、日本共産党市会議員団は、9月16日、市長への申し入れを行いました。署名用紙が回覧されていますが、公



マイカー自粛署名の中止を申し入れる市会議員団(左端が西野市議)

開のかたちで、市の施策に協力するかどうかを市民に迫り、同時に名前、住所、自動車の保有台数など重要な個人情報が集められることによる大きな不安の声が上がっています。こうした署名については直ちに中止し、関係書類を回収するよう求めました。